

【件名】

防災・交通安全対策の推進に係るコミュニティポイント（案）の導入について

【要旨】

防災・交通安全施策への参加に関し、区民の意識と行動の変化を促すことを主たる目的として、以下の事業に対しコミュニティポイントを導入するものである。区民が自らの暮らしを見直し、災害や交通安全に対する備えを日常的に実践する契機となることを目指す。

1 集合住宅（アパート・マンション等）防災訓練

(1) 概要

中野区では約8割の世帯が集合住宅に居住している。災害時における共助体制の構築や備蓄の推進が求められる一方で、防災訓練の実施件数及び参加者数は少ない状況にあるため、コミュニティポイントを活用し、訓練への参加を促進するものである。ポイント付与を通じて、区民が防災への関心を高め、日常生活の中で備えを意識的に行うようになることを期待する。

(2) ポイント付与対象（案）

主体的に防災訓練を企画・実施した集合住宅管理組合又は居住者

(3) 付与ポイント数（案）

1団体当たり最大15,000ナカペイポイント

(4) 期待される効果

- ・ポイント付与による参加動機の向上
- ・ポイントを活用した備蓄品等の購入
- ・訓練後の備蓄行動や避難経路確認など、防災実践率の向上
- ・災害時の自助・共助体制の強化
- ・区民が防災を「自分ごと」として捉え、継続的な備えを行う意識の醸成

2 参加者の年代を限定した区主催の自転車安全利用講習会（20代から40代限定）

(1) 概要

令和6年の区内における自転車事故のうち、20～40代が全体の47.1%を占めている。一方、区および警察署が実施する交通安全講習会における20～40代の参加割合は約24.7%と低調である。参加者にコミュニティポイントを付与することで、当該年代層の参加を促し、交通事故の減少につなげるものである。講習会を通じて、交通ルールやマナーの理解を深め、日常の自転車利用における安全意識の向上を図る。

(2) ポイント付与対象（案）

講習会の受講者（区内在住、事前予約制、当日受付による受講確認）

(3) 付与ポイント数（案）

1回の受講につき1人500ナカペイポイント

(4) 期待される効果

- ・ポイント付与による受講動機の向上
- ・自転車利用者の交通ルール習得及びマナーの向上
- ・安全な自転車利用を日常的に実践する意識の定着

3 その他

令和8年度の実施に向けて予算要求を行う。

【参考】コミュニティポイントの考え方

1 導入の目的

SWCの推進を図り、特に区民の心身の健康増進とコミュニティの活性化（「よりよい生活習慣と楽しい社会参加で、健康に暮らそう」）に向けて、行動変容を促すことを主たる目的として、コミュニティポイントを導入する。

また、この一環として、区民の利便性を向上するとともに、事務の効率化と財政負担の軽減を図り、施設使用料などの支払いや区の給付事業において「ナカペイ」を活用する。

2 期待される（目指す）効果

SWCを推進するツールとして、EBPMを進め、見直し・改善を図りながら、実効性の高い施策や事業を実施することで、健康増進や健康寿命の延伸、社会参画と幸福度を高め、ひいては医療・介護費の適正化につなげていく。また、これらにより軽減された財政負担分を区民等に還元する。

3 コミュニティポイント検討の視点・導入の条件

- ・政策課題に対応する取組を対象とする。
⇒「区の政策課題への対応」×「ポイント付与・利用に適した事業や取組」
- ・EBPMにつなげるため、可能な限り、定量的なデータ（効果）が測れるものを対象とする（毎年度評価と検証を行い、それを踏まえて見直し・改善を行う）。
- ・行動変容を促す観点から、ポイントの獲得条件の設定を熟慮する（ハードルの設定がどの程度効果的かを検討する）。
- ・上記3点に加え、他の事業や取組に対して波及効果が大きいかどうかについても考慮する。